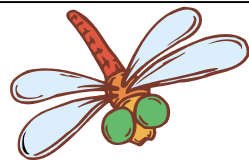


産地直送便



発行(農)山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2009.7.1 発行
責任者 星 隆之

田んぼの生きもの調査実施



去る6月8日に、今年一回目の『田んぼの生きもの調査』を行いました。今回は、主に組合員を中心に調査と学習をしました。交流田の土の状態など、昨年より一層良好で参加した生産者も実感していたようです。



イトミミズ数えています。
農家のお父さん方は麦わら帽子がにいますねえ。

『雪みず田んぼ交流田』
この看板が目印です。

ポケット図鑑で虫の名前
を確認している所です。



参加した生産者の声
村山班 西山浩二さん

他の農家の水田は、濃い緑色で田面が見えない位繁茂し太陽があたりません。

そんな中、私達の田んぼだけはスカスカです。

イトミミズをはじめ、多くの生きもの達が棲息している様子がよく観えます。

ホタルが飛んで、トンボの羽化が始まりました。周囲の田んぼに比べると、格段に発生が多いと思います。

昨年は、オニヤンマの羽化に出会いました。

あの時の感動を今年も味わいたいと思っています。

オニヤンマは、5年間ヤゴ生活をして飛び立つそうです。

そういった生きもの達の環境を守ることが、私達の命を守ることに関わって、繋がっていく・・・

3年前に山形おきたま産直センターとの関わりがスタートしてから、生きもの達を意識して米づくりに取り組んできました。一年一年の変化を嬉しく、楽しんでいます。

自然に活かされている自分を再認識して、共生のために命を未来の子供達へ繋ぐために何をなすべきか考えながら、じゅんさい沼の近くで畦草刈りしています。

皆さんもぜひ『田んぼの生きもの調査』にご参加下さい。

私達メンバーがお相手いたします。

お米は生鮮食品です ～夏場の保管管理に注意～

- ◆皆さんにお届けしているお米は、
 - ・農薬の使用量が半分以上の「特別栽培米（減農薬・減化学肥料栽培米）」
 - ・農薬を一切使用しない「有機栽培米」です。早めに食べきりましょう。
- ◇お米を容器にあける時は、容器を空にして掃除をしてください。
隅にたまった米糠などは、カビや虫発生の原因となることがあります。
- ◆お米の継ぎ足しはダメやめましょう。
- ◇保管場所を考えましょう。高温多湿を避けて、風通しの良い場所に保管。
少量であれば、密閉できる容器に入れて冷蔵庫に保管。
台所は案内湿気が多い所です。換気扇をつけるなど十分に注意が必要です。
- ◆お米は生鮮食品です。1ヶ月程で食べきりましょう。
- ◇虫よけ対策に「鷹の爪」をご利用下さい。

おきたまの文月

有機栽培では・・・穂ができる（幼穂形成期）大切な時期です。

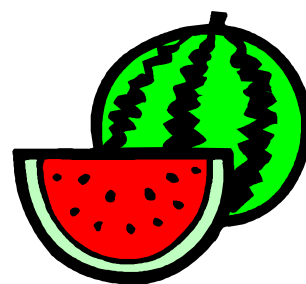
特別栽培では・・・農薬散布が普通栽培の半以下に制限されるため、田んぼの周囲の草刈など虫が少なくなる環境づくりが大切です。

果樹では・・・りんご、西洋梨は、果実が肥大する時期で支柱を立て枝が折れるのを防ぎます。また、梅雨が明ける前に除草や敷き草を行い、土地の水分を保ちます。

ぶどうの管理では、高温対策等で換気に十分な注意を払います。

野菜では・・・夏場に入り葉物がほとんどなくなり、

トマト、きゅうり、なすなどが収穫され、後半にはスイカ、かぼちゃが収穫されます。



お米の変更・お休みはお届け日の 10 日前までにご連絡下さい